

学習者からみたよりよい性教育についての一考察
—— 大学生における性教育の既習状況と学習ニーズに着目して ——

石井里佳・木山慶子

A Study about Good Sex Education from the Student's Viewpoint:
Focused on University Students' Learned Situation and Learning Needs

Rika ISHII, Keiko KIYAMA

学習者からみたよりよい性教育についての一考察

—— 大学生における性教育の既習状況と学習ニーズに着目して ——

石井里佳・木山慶子
保健体育講座
(2017年9月27日受理)

A Study about Good Sex Education from the Student's Viewpoint: Focused on University Students' Learned Situation and Learning Needs

Rika ISHII, Keiko KIYAMA
Faculty of Education, Health & Physical Education, Gunma University
(Accepted September 27th, 2017)

キーワード：性教育、性に関する指導、学校教育、保健

I. 研究の背景

我が国の性に関する指導の在り方は、中央教育審議会答申(2005)において「学校全体で共通理解を図りつつ、体育科、保健体育科などの関連する教科、特別活動等において発達の段階を踏まえ、心身の発育・発達と健康、性感染症等の予防などに関する知識を確実に身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、相互に関連づけて指導することが重要である。」と示されている。つまり性に関する指導における体育科および保健体育科での保健授業の役割は大きく、授業において子どもたちの性に関する知識や実践力を高めることができる質の高い学習指導が求められている。

しかしながら、実際の保健授業における性教育は、様々な課題を抱えている。

1. 学習者である子どもたちの抱える課題

植田(2004)は、中学生は性に対してネガティブ

なイメージを抱いている場合があることを明らかにし、子どもたちが嫌悪感や不快感を抱きながら学習に参加していることを示した。

さらに、若者の性に関する実態や意識として、今日の大学生の約50%が性交を経験していること(日本性教育協会「青少年の性行動2011年第7回調査」)、高校生の約6割が結婚前の性交を容認していること(佐原、2007)、毎回避妊をする高校生は約半数で、避妊を行わない理由の多くは、「面倒くさいから」「多分妊娠しないから」女子においては「避妊を言い出せないから」(若者の性白書、2007)などの報告が示されている。このような性行為や避妊に対する実態・意識を原因とした若者の望まない妊娠や人工妊娠中絶、性感染症は依然として重大な健康問題であり、その背景には適切な知識を活用した主体的な意志決定・行動選択ができていないことが考えられる。

2. 教員の抱える課題

石井ら(2017)は、中学校保健体育教員は教材研究や教具づくりのための時間が無いことや、生徒の

関心や発達段階の差による指導の戸惑いがあることを明らかにした。また高校教員の性教育に関する課題として、樋谷（2009）は性の相談や教育には戸惑いと自信のなさがあることを、岡本ら（2014）は性教育の特質に起因する実施への躊躇や性教育を実施することの教諭自身の限界感、指導法の模索があげられることを明らかにした。

3. よい保健授業

このような課題を踏まえ、めざす保健授業すなわち「よい保健授業」の議論について、白石ら（2013）は、学習者からみた科目保健のよりよい授業条件について「生活に役に立つ」「十分な学習活動」「印象に残る」「わかりやすい」の4つを示した。さらに、戸田（2011）は保健授業の満足度の三要素「役に立つ」「ためになる」「面白い」をあげ、「面白い」とはインパクトがあり印象に残ることと同義であり、授業導入部では教材に工夫を凝らすことが重要性であり、学習者の関心・意欲・態度に関連していることを述べた。続いて、ドラッガー（1998）は「学校の使命として子ども達に何かを学ばせて、それを10年後に使わせること」という文言をあげ、よりよい授業の条件として、「印象に残ること」と「生活に役立つこと」が重要であることを示した。

よって、これらの条件を満たすことが「よい保健授業」につながっていくと考えられる。

4. 主体的で対話的な学習活動

また、この「よい保健授業」には、効果的な学習活動が必要となる。現行の高等学校学習指導要領解説保健体育編（2009）では「場面に応じた適切な意志決定や行動選択が不可欠であることを理解できるようにする必要がある」と示されている。加えて具体的な指導に当たっては、知識を活用する学習活動を積極的に行うことにより、思考力・判断力等を育成していくために「ディスカッション、ブレインストーミング、ロールプレイング（役割演技法）、心肺蘇生法などの実習や実験、課題学習を取り入れること」と示されており、そういった学習活動を通して適切な意志決定や行動選択をするための能力を育

むことが求められている。

さらに、今日アクティブラーニングの視点として「主体的で対話的な深い学び」の必要性が言われている。保健授業における「主体的で対話的な学び」とは、健康についての課題の解決に向けて、児童生徒が他者（書物等を含む）との対話を通して、自己の思考を広げ深めていく学びの過程についての課題の解決を目指した協働的な学習のことである。このような対話的な学習活動を取り入れ指導することで、学習内容が印象に残り、知識の定着につながる事が期待できる。

II. 研究目的

以上の背景をふまえ、本研究では、学生が今まで受けてきた性教育授業の内容や有用感、印象などを調査し現状と課題を明らかにする。さらに学習を希望する性教育の内容や授業形態などから、学習者のニーズを把握する。それらの結果から、学習者からみたよりよい性教育授業の在り方を考察することを目的とする。

III. 研究方法

1. 調査方法

質問紙調査を実施する。質問紙は、全国調査として日本性教育協会が6年ごとに実施している『青少年の性行動』の中の質問項目の一部を本研究の質問紙項目として再考し、作成した。それらの質問紙を、対象者に配布あるいは送付し回収をした。予備調査を通して、記入方法を修正し、同様の方法で本調査を実施した。

2. 対象・期日

対象は、7大学の大学生および大学院生462名であり、2016年11月～2017年7月に実施した。

3. 質問内容

大きく、既習内容と学習ニーズの2つの内容について答えを求めた。質問項目は「①個人の属性」「②

性教育を受けた時期」「③既習した性教育内容」「④今まで受けた性教育は実生活に役立つ」「⑤印象に残る性教育授業の有無とその内容」「⑥学習したい性教育の内容」「⑦希望する学習形態」「⑧同世代の性についての考えを知りたい」「⑨同世代と性について意見交換をしたい」である。

4. 分析方法

得られたデータは Microsoft Excel2010 及び IBM SPSS Statistics24 を用い、平均値の差の検定では一元配置分散分析後に Tukey の多重比較を行い平均値を比較し、相関関係は Pearson の相関分析を行い検討した。自由記述「⑤印象に残る性教育授業の内容」は KJ 法および文章分析ソフトの KH-Coder を用いて分析した。

IV. 結果・考察

1. 回収結果

回収数は 462 名であり、うち男性 265 名 (Mean = 19.08 歳, SD = 1.36)、女子 197 名 (Mean = 19.07 歳, SD = 1.27) であった。

2. 既習した性教育内容と印象

(1) 性教育を受けた時期

性教育を受けた時期は、男女ともに「中学校」「高校」「小学校」「大学」の順で多かった (表 1)。

表 1 性教育受けた時期 (人)

	男	女	計
小学校	112 (42.3%)	122 (61.9%)	234 (50.6%)
中学校	253 (95.5%)	186 (94.4%)	439 (95.0%)
高校	225 (84.9%)	171 (86.8%)	396 (85.7%)
大学	29 (10.9%)	23 (11.7%)	52 (11.3%)

また平均値の差の検定において「小学校」で男女間に有意差 ($P < .01$) がみられた。なお、今まで性

教育を受けたことのないものはいなかった。

これらの結果から、女子は男子よりも特出して小学校時の性教育既習経験が多く印象に残っていることがわかった。加えて、大学では性に関する講義を履修していない学生が多くいることが考えられ、中学・高校段階での一層の性教育の充実が求められると言える。

(2) 学習した性教育内容

全体では「性感染症 447 人 (96.8%)」が最も多く、次いで「エイズ 445 人 (96.3%)」「月経 443 人 (95.9%)」「妊娠・出産 431 人 (93.3%)」であった。男子は「性感染症 253 人 (95.5%)」「エイズ 251 人 (94.7%)」「射精 248 人 (93.6%)」、女子は「月経 196 人 (99.5%)」「エイズ 194 人 (98.5%)」「性感染症 194 人 (98.5%)」「初経 192 人 (97.5%)」の順であった (表 2)。

表 2 既習した性教育内容 (人)

	男	女	計	
性の生理的側面	初経	235	192	427
	精通	231	136	367
	月経	247	196	443
	射精	248	163	411
	第二性徴	217	159	376
	性器	243	172	415
	生命誕生	230	176	406
性行為・付随側面	セックス	214	124	338
	避妊法	242	181	423
	エイズ	251	194	445
	性感染症	253	194	447
	妊娠・出産	243	188	431
	人工妊娠中絶	215	170	385
	性の心理・倫理的側面	思春期心理	227	181
心理と行動		205	163	368
性役割		190	136	326
性相談所・相談方法		166	108	274
愛とは何か		118	59	177
性欲処理		170	79	249
異性交遊法		137	60	197
性の意識		189	122	311
同性愛		146	76	222
デート DV		164	123	287
セクシュアルハラスメント	209	151	360	
性に関する医療機関	156	106	262	

網掛け太字は回答率 90%以上の項目

これらの結果から、既習内容として「性の生理的側面」「性行為・性行為付随側面」に関する内容が多いことが明らかになった。また、男子では「射精」、女子では「月経」「初経」など自身の性に関する内容が多いことや、現行の高等学校学習指導要領解説保健体育編（2009）に記載されている内容でも、既習内容として回答していない対象者がみられたことから、「既習内容」とは「印象に残っている内容」とであると推察される。

(3) 性教育に対する評価

今まで受けた性教育は実生活の役に立つかという質問では、「役に立つ（まあ役に立つ・とても役に立つ）」と回答したのは全体の約76%であった。

このことから、本対象者の4分の3以上が性教育に有用感を抱いていることが推察される。男女で有意差はみられなかった（表3）。

表3 性教育は役に立つ (人)

群	項目	男	女	計
役に立たない	まったく役に立たない	12 (4.5%)	5 (2.6%)	17 (3.7%)
	あまり役に立たない	47 (17.9%)	42 (21.5%)	89 (19.4%)
役に立つ	まあ役に立つ	151 (57.4%)	128 (65.6%)	279 (60.9%)
	とても役に立つ	53 (20.2%)	20 (10.3%)	73 (15.9%)

(4) 印象に残った性教育授業の内容

印象に残っている性教育授業があると回答したのは男子50名（8.9%）、女子37名（18.8%）であった。

印象に残った授業内容として、101件（男子57件、女子44件）の自由記述が得られた（表4）。該当授業を受けた時期は「小学校」16（男子4、女子12）件、「中学校」31（男子18、女子13）件、「高校」54（男子35、女子19）件であった（表4）。既習時期同様、印象に残る授業内容でも、女子は男子に比べ小学生時の記述が多かった。

自由記述はKJ法によって3つの特徴に分類できた。

①魅力的な授業内容や学習活動（「2年のとき保

健の授業で体育の女の先生が教科書を簡単にわかりやすく話してくれた。」「先生の友達のエピソードが面白かった」など）

- ②特別な授業形態（外部講師による全校講話等）
- ③衝撃的な教材（映像資料や妊娠・出産、人工妊娠中絶に関する話等）である。また、同じ授業内容でも学習者の実態や用いる教材によって異なった印象を与える場合があった。（「妊娠・出産の流れを覚えた。ビデオを見て生命の誕生に感動した。（保健体育の先生）」「妊娠や出産に関する生々しい映像」）

次に、自由記述を文章分析ソフトのKH-Coderを用いて分析した。分析に使用した品詞は「名詞」「サ変名詞」「形容動詞」「動詞」「形容詞」であり、総抽出語数は1854（使用585）であった（表5）。

抽出語とその頻度からは、「先生」「講師」「外部」といった授業形態・教師の特性に関するものや、「エイズ」「感染」「妊娠」「月経」「出産」「中絶」といった学習内容に関するものが多いことがわかった。また、自由記述中には教材などに対しての「衝撃」という言葉も多かった。

共起ネットワーク（描画数60）のまとめりからは下記の5つのカテゴリが考察できた（図1）。図1の共起ネットワークは、線が太いほど関連が、「水色（薄色）、白、ピンク（濃色）」の順に媒介中心性が強く、円が大きいほど語の出現率が高いことを意味している。

- ①外部講師による全校講話：「外部講師の先生の、エイズに関する全校生徒対象の講話での映像資料が衝撃的だった」「外部講師のエイズの全校講話の映像が衝撃的だった」等の記述がみられた。
- ②女子の月経指導：「臨海学校の直前に女子だけで集められ、生理用品を一人1セットずつ配られ、月経指導を受けた。」「女子だけ保健室で月経指導を受けたから」等の記述がみられた。
- ③人工妊娠中絶：「妊娠中絶についてのビデオが話の授業を受けた時に、自分が思っていた以上の衝撃を受けました。」「人工妊娠中絶についてのビデオを見てとても辛くなった。」等の記述

表4 印象に残った授業内容(原文まま)

	小学校	中学校	高校			
男子	担任が金玉がちんこから出てくるといふのが印象深かった。「金玉ってどこから出てくると思う?」	男子のみのクラスということもあり、先生が様々な語句を包み隠さずに授業してくれた	外部講師の人工妊娠の話	人工中絶の動画が衝撃的だった。赤ちゃんの映像が怖かった。	ビデオ	
	先生がチンコのしくみについてくわしくおしえてくれた	コンドームの使い方を詳しく真剣に話してくれた講師がいた	体育の先生がおもしろおかしく話していた	先生の話が面白くて印象に残っている	先生の友達のエピソードが面白かった	外部講師の方の先生と一緒に、ある先生は子宮ちゃんとして皆の前で色々説明していたこと。
	性徴について	学年全体で1つの部屋に集められ行なった授業が印象的であった	いつも面白い先生が急になじめなくなって真剣に考えることなんだと強く感じたことが今でも印象的	エイズ講演会の講師として招かれた方が、男子高出身だったため、男子生徒のリアルな性の悩みに対して親身になって話をしてくれた。	性感染症の話の時に、先生が浜山の感染症を書いていたので、少しおどろいた。	外部の先生が来てくれた時の愛とは何かについての講演会は。印象的だった
	担任のたとえ話で真剣な話を聴いた。	性感染症の症状等	性感染症の講義を聞いて怖いと思った。	となりの席の子にコンドームの付け方のプリントをおとしてしまい、拾った時に気まずそうだったのが今でも忘れられない	ビデオを見せられて、先生が多少話をした。	デートDV エイズ 性感染症
	担任のたとえ話で真剣な話を聴いた。	コンドームの使い方指導	産婦人科の先生の性病や中絶の講演会はとても印象に残っている。	外部講師の先生が行ったセックスについての講話の内容がかなりキツイ話であった。	妊娠・出産の流れを覚えた。ビデオを見て生命の誕生に感動した。(保健体育の先生)	アフリカなどでエイズの治療法がないというような授業
		養護教諭が授業をしてくれたのは覚えている。男子がうるさくて、女子はずきだった気がする。内容は覚えていない。	避妊についてのビデオ エイズ	自分の所属するクラブ(陸上競技部)の顧問の先生による保健体育の授業において、実際にジェスチャーを施しながら展開していて印象に残るものとなった	男子校だったので過激だった	性感染症についての授業
		テスト範囲の中に性に関する問題がたくさん入っていて覚えた。	エイズについて	エロ川柳の授業が面白かった。	外部講師がおもしろかった。	パワーポイントを使った資料(絵)が印象的だった。
		性感染症の授業 何となく怖さを感じた	中学の先生が自分のオナニーの話をしてきた。	中絶のリアルな話	不妊治療の経験のある教師の話聞いた。	外部講師のエイズの全校講話の映像が衝撃的だった
		先生の性についての話がおもしろかった	性教育の授業で出産のシーンを外部の産婦人科の医師の方が見せてくれたのが印象に残った。	OBの方が講話してくれて、内容がとても興味深かった	外部講師の方が男子校ということもありつこく話をしてくれた。	教科書の問題の穴埋めをしていた。
				外部講師の先生の講話の内容が衝撃的だった。	部講師の先生がすごく気軽に(気さくに)話をしてくれた。「コンドームの達人」を教えてくれた。	保体の先生が体位を教えてくれた。
		男の責任の重さを感じた	高校の先生が性教育は高校生なら当たり前のことだし、そう思ってもおかしくないと言っていて、抵抗があまりない授業だった。	男子校ということもあり、恥ずかしさなしに普通にも先生も含め話していたから。		
		メスリンドーにゴムをつける授業	性行為は神秘的という言葉が衝撃的だった。			
女子	臨海学校の直前に女子だけで集められ、生理用品を一人1セットずつ配られ、月経指導を受けた。	性感染症についての講義を外部の人をお迎えして行った。保健体育の教諭が遠まわしに表現していたことでも直接的な表現を用いておどろいたがおもしろくて聞きやすかった。	トイレのゴミ箱がきたないので、きちんとナプキンをくるむように、と先生が指導していた。	妊娠・出産についての授業で、出産のシーンをビデオで見たのが印象に残っている。女子校だったので、女子のための内容がほとんどだった。	妊娠中絶についてのビデオが話の授業を受けた時に、自分が思っていた以上の衝撃を受けました。	先生が自分の体験をはなしてリアルだった。
	先生が熱心にエイズについてお話ししてくれた	高校に入ったら性行為をすることもしれないので、避妊をするようにと言われた	保健の授業で体育の先生が自分自身の体験で出産した時の絵を持っていた。	外部講師の方が性についての講義をしてくださり、話しがとてもオープンで、講師の方が堂々としていたので、聞いている方もはずかしさをあまりかんじなかった。話しも、今思うと大切なことも多く、ためになるはなしであった。	エイズについて学んで、啓発ボランティアにも参加した。	先生1人1人は話をしてくれた。
	修学旅行前に女子だけ月経指導、何が言われるのかドキドキしたので覚えています。	体育の先生が好きだったのでちゃんと保健の授業を受けていました。	中学の担任の先生の道徳についての授業は印象的だった。	家庭科の授業で受精から妊娠までの過程を学んだ	外部講師の先生の、エイズに関する講和での映像資料が衝撃的だった。	不妊症の方の治療の様子をビデオで見たことが大変だと思った。
	実際に妊婦さんや産婦人科医(保健師かも)を招いての妊娠や生命誕生についての授業	妊娠や出産に関する生々しい映像	人工中絶のことを生々しく話してくれて絶対に忘れない	教育実習に行ったとき、コンドームの付け方を教具を使って実際に行っており、生徒たちが引いていたのでそれがとても印象に残っています。	先生が芸能人の話をからめていたりとおもしろかった。	外部講師の先生の、エイズに関する全校生徒対象の講話が印象的だった。
	女子だけ保健室で月経指導を受けたから	2年のとき保健の授業で体育の女の先生が教科書を簡単にわかりやすく話してくれた。	大きなスクリーンで講義をされたこと。	人形を用いた性行為に関する授業。外部講師のエイズに関する全校講話	時期が教育実習生が来ていたこともあり、性教育の内容が印象に残っている。	ゴムの付け方
	前時に行なった復習をしていて、性に関わる言葉について先生が「……ってなんて言うんだっけ?」と問いかけをしていて、みんなが(はずかしいのか)全く答えず、自分は今にも考えず、はずかしくもなく、1人で全部答えてしまったから覚えています。	生命誕生について保体の先生が話してくれたのが印象的。	中絶の際に胎内の小さな赤ちゃんはスプーンなどでかき出すときいて衝撃をうけたから	保健体育の先生の、着床に関する話が、なぜかとても印象的。エストロゲンの話をしていた	先生がコンドームの使い方を実際にやってみせた。(何か棒を用意して)	人工妊娠中絶についてのビデオを見てとても辛くなった。
	女子生徒だけで集められ、生理の話		外部講師の先生の出産に関する全校生徒対象の講話でも映像資料が衝撃的だった。	デートDVの話聞いたとき、こういうDVもあるんだ…と衝撃をうけたから		
	月経指導					
	月経が病気でないと分かったから、初めてなつたときもあせらなかつた。					
	子どもができる原理を小5の時の保体の先生が教えてくれたとき、それまでは手をつないで折りながら寝るとできると思っていたから。					
月経について(4・5年生のとき)女子だけで授業を受けた。						
初経がくる前に月経について知ることができたから。						

がみられた。

- ④妊娠・出産に関する映像：「妊娠・出産の流れを覚えた。ビデオを見て生命の誕生に感動した。(保健体育の先生)」「妊娠や出産に関する生々しい映像」
- ⑤コンドームの付け方：「コンドームの使い方を詳しく真剣に話してくれた講師がいた」「先生がコンドームの使い方を実際にやってみせた。(何か棒を用意して)」等の記述がみられた。

表5 抽出語と頻度

抽出語	頻度	抽出語	頻度	抽出語	頻度
先生	40	全校	5	生々しい	2
話	22	聞く		学ぶ	
授業	21	資料	4	見せる	
講師	17	人工		考える	
外部	16	男子		使う	
印象	15	実際		招く	
エイズ	12	面白い		答える	
衝撃	10	見る		入る	
保健	9	言う		忘れる	
ビデオ	8	講義		ゴム	
女子		産婦人科	シーン		
体育		使い方	教科書		
感染		性教育	教論		
講話	7	生命	言葉		
妊娠		対象	高校		
月経		男子校	生理		
残る	7	付け方	赤ちゃん		
話す		感じる	中学		
出産	6	教える	用いる		
中絶		行う	来る		
覚える	6	リアル	デート		
思う		真剣	教育		
受ける		講演	実習		
指導		治療	体験		
コンドーム		怖い	担任		
映像		集める	避妊		
自分	6	性行為	表現		
生徒		誕生			
内容					

これらのことから印象に残る性教育授業として、外部講師による全校講話や養護教諭による月経指導などがあげられ、普段の一斉指導とは異なる特別な授業者との連携授業・指導方法を選択することが、印象に残る授業として有効であると推察される。

さらに、その授業内容としては、「人工妊娠中絶」や「避妊法」「月経」「エイズ」など「性の生理的側面」および「性行為・性行為付随側面」の内容が多く、「魅力的な学習内容や教材」として、ポジティブに学習者に印象付けるために、生徒の発達段階や実態、授業のねらいに応じた配慮を行なう必要があると考えられる。

(5) まとめ

既習した性教育授業として以下のことが明らかになった。

- ・性教育を受けた時期として、中学校が最も多く次いで高校である。
- ・女子は男子よりも小学校時の性教育を受けた経験が多く印象に残っている。
- ・既習内容は性の生理的側面（月経、初経、射精）や性行為・性行為付随側面（性感染症、エイズ、妊娠・出産）が多い。
- ・自分の性に関する内容が印象に残っている。
- ・7割以上の学習者が既習した性教育に対して有用感を持っている。
- ・印象に残る「教材」としてわかりやすい・面白いといったポジティブなものや生々しい・衝撃的な視聴覚教材といったネガティブなものがあげられる。
- ・印象に残る「学習形態」として外部講師や全校講話、女子だけの月経指導など普段と異なる特別な授業形態があげられる。
- ・印象に残る「学習内容」として、人工妊娠中絶や妊娠・出産、月経、避妊法、エイズなどがあげられる。

3. 性教育に関する学習ニーズ

(1) 学習したい性教育授業

男女で最も多かった内容は「愛とは何か 85人(18.4%)」次いで、「異性交遊法 59人(12.8%)」「心

表6 学習したい性教育内容 (人)

		男	女	計
性の生理的側面	初経	7	9	16
	精通	9	9	18
	月経	9	11	20
	射精	6	7	13
	第二性徴	17	12	29
	性器	8	7	15
	生命誕生	15	13	28
性行為・付随側面	セックス	21	15	36
	避妊法	20	16	36
	エイズ	19	16	35
	性感染症	21	16	37
	妊娠・出産	20	18	38
人工妊娠中絶	23	18	41	
性の心理・倫理的側面	思春期心理	24	20	44
	心理と行動	29	24	53
	性役割	23	15	38
	性相談所・相談方法	24	25	49
	愛とは何か	49	36	85
	性欲処理	23	20	43
	異性交遊法	35	24	59
	性の意識	18	19	37
	同性愛	23	30	53
	デートDV	23	29	52
	セクシュアルハラスメント	17	16	33
性に関する医療機関	23	29	52	

網掛け太字は回答率10%以上の項目

(3) 同世代と性について語るニーズ

「同世代の性の考えを知りたい」では55.5%が、「同世代と性の意見交換したい」では46.8%が「したいと思う(やや・とても思う)」と答えた(表8)。

性について語り合うニーズが約半数にとどまったことは、言語活動を通じた学習活動の経験が少なく、実際に対話的な学びの機会があまりないことが考え

表7 希望する学習形態 (点)

		Mean		SD		t	有意差
		男子	女子	男子	女子		
授業形態	男女一斉	2.05	1.66	0.83	0.75	5.04	*
	男女別	2.26	2.62	0.79	0.65	-0.51	*
	単一学級	2.33	2.37	0.78	0.74	-0.45	
	複数学級	1.90	1.81	0.79	0.73	1.22	
教員の特性	同性教師	2.39	2.70	0.71	0.53	-5.05	*
	異性教師	1.77	1.45	0.69	0.55	5.26	*
	保健体育教師	2.35	2.46	0.72	0.64	-1.63	
	養護教諭	2.13	2.49	0.70	0.65	-5.41	*
	外部講師	2.28	2.24	0.74	0.71	0.50	

* P < .01

られる。つまり、本調査における学生たちは、語り合う学習活動を経験しておらず、そのメリットを理解していないことや、活動を難しいことと考えているのではないかと思われる。子安ら(2004)は、「学校は公的な場であるのに対して、セクシャリティは私的で個人的で隠すべき事柄だとみなされてしまう」と述べているように、学生は性に関する言動に抵抗感を抱いている可能性が考えられる。

よって、対話的な学びを性教育で行う際は、生徒の学習経験などの実態を踏まえた指導の配慮が必要であると推察される。

(4) まとめ

性教育に関する学習ニーズについて以下のことが明らかになった。

- ・学習したい性教育内容としては、性の心理・倫理側面(愛とは何か、異性交遊法、心理と行動)が多い。
- ・学習形態として、男子よりも女子の方が「男女別授業」で「同性教師」および「養護教諭」から性教育を受けたいと思っている。

表8 同世代と性について語り合うニーズ

(人)

群	項目	同性代の性についての考え知りたい			同世代と性について意見交換したい		
		男	女	計	男	女	計
思わない	全く思わない	23(8.8%)	11(5.8%)	34(7.6%)	16(6.4%)	15(7.9%)	31(7.0%)
	あまり思わない	80(30.8%)	86(45.5%)	166(37.0%)	102(40.6%)	101(53.4%)	203(46.1%)
思う	やや思う	129(49.6%)	75(40.0%)	204(45.4%)	114(45.4%)	61(32.3%)	175(39.8%)
	とても思う	28(10.8%)	17(9.0%)	45(10.0%)	19(7.65%)	12(6.3%)	31(7.0%)

- ・男女ともに「同性教師」から性教育を受けたいと思っている。
- ・同世代の性についての考えを聞くことや、性について語り合うことのニーズは約半数である。

V. 結論

本研究では、学生が今まで受けてきた性教育授業の内容や有用感および印象などを調査し、現状と課題を明らかにする。加えて、学習を希望する性教育内容や授業形態などから、学習者のニーズを把握する。そのことによって、学習者からみたよりよい性教育授業の在り方を考察することを目的とした。

その結果、既習内容から、これまでの性教育授業の実態や課題が明らかとなり、さらに学習のニーズを知ることができた。それらを踏まえ、よりよい性教育授業実践の在り方を考察し、よい授業実践のための具体的手立てを以下のように5つ提案することができた。

- ①「性の心理・倫理的側面」の内容を補完する。
- ②学習者が自身と関係が深いと捉えられるような内容や、そのための指導の工夫をする。
- ③生々しいと捉えられるような視聴覚表現を避ける、または提示する場合は事前に説明をする。
- ④外部講師や養護教諭との連携授業や学年・全校での講話など普段とは異なる指導方法を組み合わせる。
- ⑤授業のねらいや学習者の実態に応じて男女別授業や同性教師からの学習指導などを組み合わせる。

これらの手立てが、「よい性教育授業」につながるものであると結論づけられる。

VI. 今後の課題

今回の研究を踏まえて、学習者からみたよりよい性教育授業の特徴と具体的手立てを提案することができた。しかしながら、それらの実践にまでは至っていない。今後は、実際にこれらの手立てを取り入れた性教育授業を実践し、学習者の感想や学習成果

を調査することで、その有効性について検討することとしたい。

文献

- 1) 中央教育審議会 (2005) 学校教育全体 (教科横断的な内容) で取り組むべき課題 (食育, 安全教育, 性教育) と学習指導要領等の内容 3 性教育について. 文部科学省, http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/022/siryu/06092114/001/004/003.htm (参照日 2017 年 9 月 20 日)
- 2) 石井里佳・木山慶子・霜触智紀 (2017) 中学校における性教育の現状と課題—群馬県における保健体育教員の性教育に関する実態調査に着目して—. 北関東体育学研究 2 巻, pp.31-38
- 3) 喜多村和之 (2002) 大学は生まれ変わるか、国際化する大学評価の中で. 中公新書
- 4) 子安潤・山田綾・山本敏郎 (2004) 学校と教室のポリテクス—新民主主義教育論—. 清風堂書店フォーラム・A
- 5) 文部科学省 (2009) 高等学校学習指導要領解説保健体育編
- 6) 仁木雪子 (2007) 高校生を対象とした男女別性教育の可能性. 母性衛生第 48 巻 3 号, p.202
- 7) 岡本麻代・齊藤佳余子・永山くに子 (2014) 性教育をめぐる高等学校教諭の意識の検討: ピアエデュケーションの視点から. 母性衛生 54 巻 4 号, pp. 548-555
- 8) 佐原玉恵 (2007) 高校生の性知識、価値観、行動の実態とその関係. 母子衛生第 48 巻 1 号, pp.132-141
- 9) 白石龍生・白石大悟 (2013) 科目保健の生徒による授業評価についての研究. 大阪教育大学紀要第 V 部門第 62 巻第 1 号, pp71-78
- 10) 戸田忠雄 (2011) 教えるな! できる子に育てる 5 つの極意. NHK 出版新書
- 11) 樋谷亜希子・篠木 絵理・藤井 可苗 (2009) 高校生の性と性教育に対する教員の意識. 北海道医療大学看護福祉紀要 16 号, pp.69-73
- 12) 植田彩・佐々木くみ子・前田隆子・鈴木康江 (2004) 中学生の性イメージと性教育に関する研究—ピアエデュケーションによる性教育を通して—. 米子医誌第 55 巻 4 号, p.193-202
- 13) 財団法人日本児童教育振興財団内日本性教育協会 (2011) 「若者の性」白書第 7 回青少年の性行動全国調査報告. 小学館

